

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<1/5>

参考値

(データ集約 : 11/21)

採取場所	プロセス主建屋開口部 (東側開口部)		焼却工作建屋開口部 (南東側開口部)		サイトバンカ建屋開口部 (サイトバンカ建屋大物搬入口)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
試料採取日時刻	平成24年11月18日 10時40分～11時40分		平成24年11月18日 10時40分～11時40分		平成24年11月18日 10時30分～11時30分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○. ○E-○とは、○. ○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約3E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約8E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<2/5>

参考値

(データ集約：11/21)

採取場所	雑固体廃棄物 減容処理建屋開口部 (北東側開口部)		1号機廃棄物処理建屋 (西側開口部)		2号機廃棄物処理建屋 (西側開口部)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年11月18日 10時30分～11時30分		平成24年11月18日 8時45分～9時45分		平成24年11月18日 8時45分～9時45分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約3E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約8E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<3/5>

参考値

(データ集約：11/21)

採取場所	4号機廃棄物処理建屋 (北西側開口部)		4号機原子炉建屋開口部 (原子炉建屋大物搬入口)		1号機タービン建屋開口部 (タービン建屋大物搬入口)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成24年11月18日 8時55分～9時55分		平成24年11月18日 8時55分～9時55分		平成24年11月18日 12時25分～13時25分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約3E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約8E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<4/5>

参考値

(データ集約：11/21)

採取場所	2号機タービン建屋開口部 (タービン建屋大物搬入口)		3号機タービン建屋開口部 (タービン建屋大物搬入口)		4号機タービン建屋開口部 (タービン建屋大物搬入口)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時時刻	平成24年11月18日 12時25分～13時25分		平成24年11月18日 12時15分～13時15分		平成24年11月18日 12時15分～13時15分		
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約3E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約6E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約8E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一原子力発電所 建屋開口部における空气中放射性物質の核種分析結果<5/5>

参考値

(データ集約：11/21)

採取場所	プロセス主建屋開口部 (除染装置室内)		造粒固化体貯蔵排気設備 (排気出口側)				②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm <sup>3</sup> ) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
試料採取日時時刻	平成24年11月18日 10時45分～11時45分		平成24年11月14日 9時52分～10時02分				
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-			1E-03
Cs-134 (約2年)	2.4E-04	0.12	ND	-			2E-03
Cs-137 (約30年)	4.2E-04	0.14	ND	-			3E-03

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

○.○E-○とは、○.○×10<sup>-○</sup>と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約5E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約1E-5Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約7E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

粒子状のI-131が約5E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-134が約4E-6Bq/cm<sup>3</sup>、Cs-137が約5E-6Bq/cm<sup>3</sup>。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。